

奥能登地域における畜産業の担い手確保の取り組み

奥能登農林総合事務所

畜産業に新規就農する時には、畜舎等の施設や設備などに多大な初期投資を要することや、環境問題などに起因して用地の確保が難しいことなど課題が多く、なかなか実現に至ることが少ない状況です。

一方で、既存の畜産農家においては、高齢化等により離農を検討している者も数多く存在していることから、担い手の確保が全国的な課題となっております。

そこで、当事務所では、新規就農希望者と高齢畜産農家をマッチングすることで、施設や設備等を第三者継承し、スムーズに新規就農による担い手の確保ができましたので、その概要を紹介します。

今回の新規就農希望者は県内の酪農家の子弟で、酪農での就農を希望していました。しかしながら親の経営している農場は市街地に位置していることから規模拡大や営農の継続に課題があり、新天地で酪農経営を開始する必要性がありました。

そこで、当事務所の普及指導員が平成30年秋ごろより奥能登地域で離農を検討している酪農家を新規就農希望者に複数件紹介し、営農計画になるべく合致する農場とのマッチングを行うとともに、継承に係る条件面の調整を行いました。

その結果、双方から第三者継承の合意を得ることができ、令和3年2月に新規就農者に引き継ぐことができました。現在31頭の牛を飼養していますが、一部の牧草が荒廃しているなどの課題があるため、引き続き営農等のサポートを行っています。

奥能登地域には、この他にも離農を検討している畜産農家が存在することから、新規就農希望者を畜産農家の子弟に限らず広く求めることでマッチングに繋げ、奥能登地域の担い手の確保に尽力していきたいと考えております。



新牛舎への牛の搬入



就農後の営農サポート

問い合わせ先：奥能登農林総合事務所 農業振興部（0768-26-2323）